

## 国内初、水素供給ネットワーク最適化の取り組み（大林組）

大林組の取り組みは、従来は水素の供給拠点と搬送地点を個別に結び最適化を図っていましたが、この度の「最適運用管理システム」は、供給拠点と複数の施設を連携させた地域全体での最適化を図ります。

各施設の電力や熱需要、水素の残量・圧力を遠隔監視するとともに、搬送トラックの運行状況を GPS により把握することで、自動で搬送計画を作成、搬送指示を行います。加えて、水素需要状況を水素製造プラントにフィードバックすることも可能で、搬送を通じた水素サプライチェーン全体の効率化にも貢献します。

国内では初めて、エネルギーマネジメントシステムを用いて水素供給ネットワークを最適化する実証運用です。

詳しくは、こちら から

[https://www.obayashi.co.jp/news/detail/news20220412\\_1.html](https://www.obayashi.co.jp/news/detail/news20220412_1.html)